

令和6年度  
看護キャリアセンター報告

# 臨床看護師の研究能力を 高めるための取り組み

教育研究推進ワーキング  
【教育研究推進WG】

# はじめに

研究は看護の質の向上に貢献するものと言われている。

日本看護協会の看護者の倫理綱領<sup>1)</sup>において、「看護職は、研究や実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する」と述べられており、看護職は科学的根拠に基づく看護を実践し、また専門的知識や技術の開発を行い、看護学の発展及び人々の健康と福祉に寄与する責任を担っている。

当院看護部は、臨床看護師の研究能力を高めるために主に3つの取り組みを実施している。

文献1) 公益社団法人日本看護協会, 看護者の倫理綱領: 2003. 7p,  
[https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/rinri/code\\_of\\_ethics.pdf](https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/rinri/code_of_ethics.pdf), (参照2025-3-7)

# 当院における研究能力を高めるための取り組み

## 1.九州大学病院看護研究コース

研究に関する知識やスキルに関する研修を行いながら、指導者による指導も実施

(令和5年度より休講中)

- 教育研究推進WGが中心となり平成24年度に臨床看護師の看護研究に関する看護実践力向上を目的として開講

## 2.九州大学看護共創・実装研究拠点

令和6年度は、保健学科と病院のメンバーが協働し計10のテーマで研究を進めている

- 実装研究の進捗状況に関する情報共有
- 「看護研究セミナー」の運営参加

## 3.臨床看護研究発表会

令和6年度は、「患者教育・看護教育」「看護実践」「看護共創・実装研究」の3つのテーマで12演題の発表が行われた

- WGメンバーが運営を実施

## 4.キャリアステーション

研究を進めていく中で困ったことや、進学について相談できる窓口

- 平成25年6月にキャリア相談窓口を開設
- 大学院修了者や専門看護師のWGメンバーが相談員を担当

# 1. 九州大学病院 看護研究コース

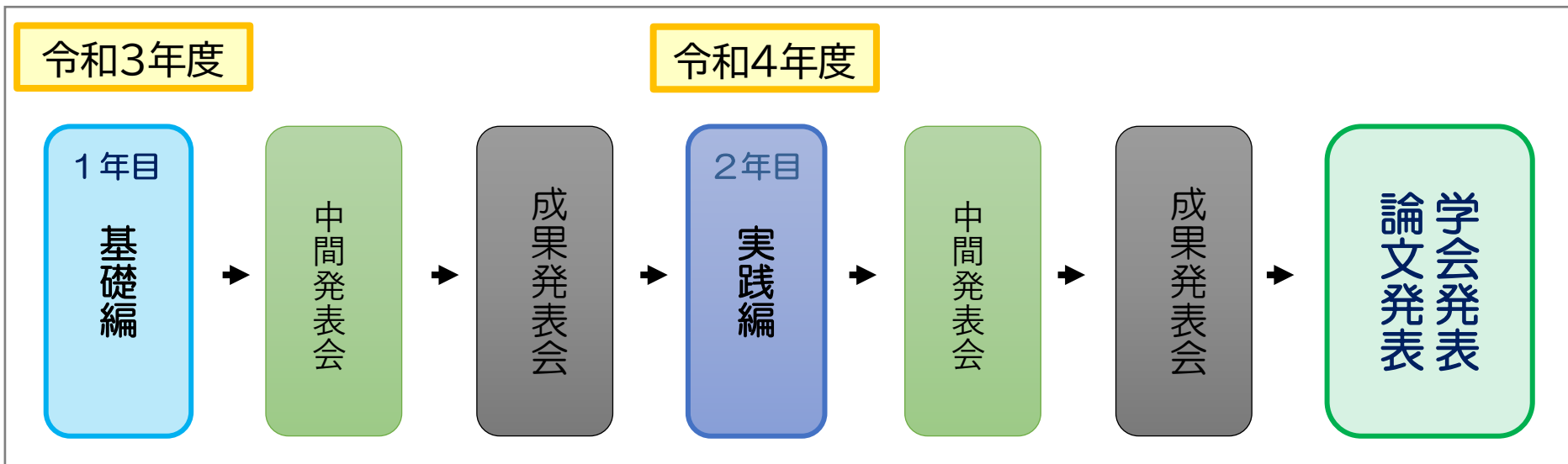
教育研究推進WG構成員:

九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野の教員

九州大学病院看護部教育担当副看護部長、大学院を修了した看護職員

看護キャリアセンター看護職員

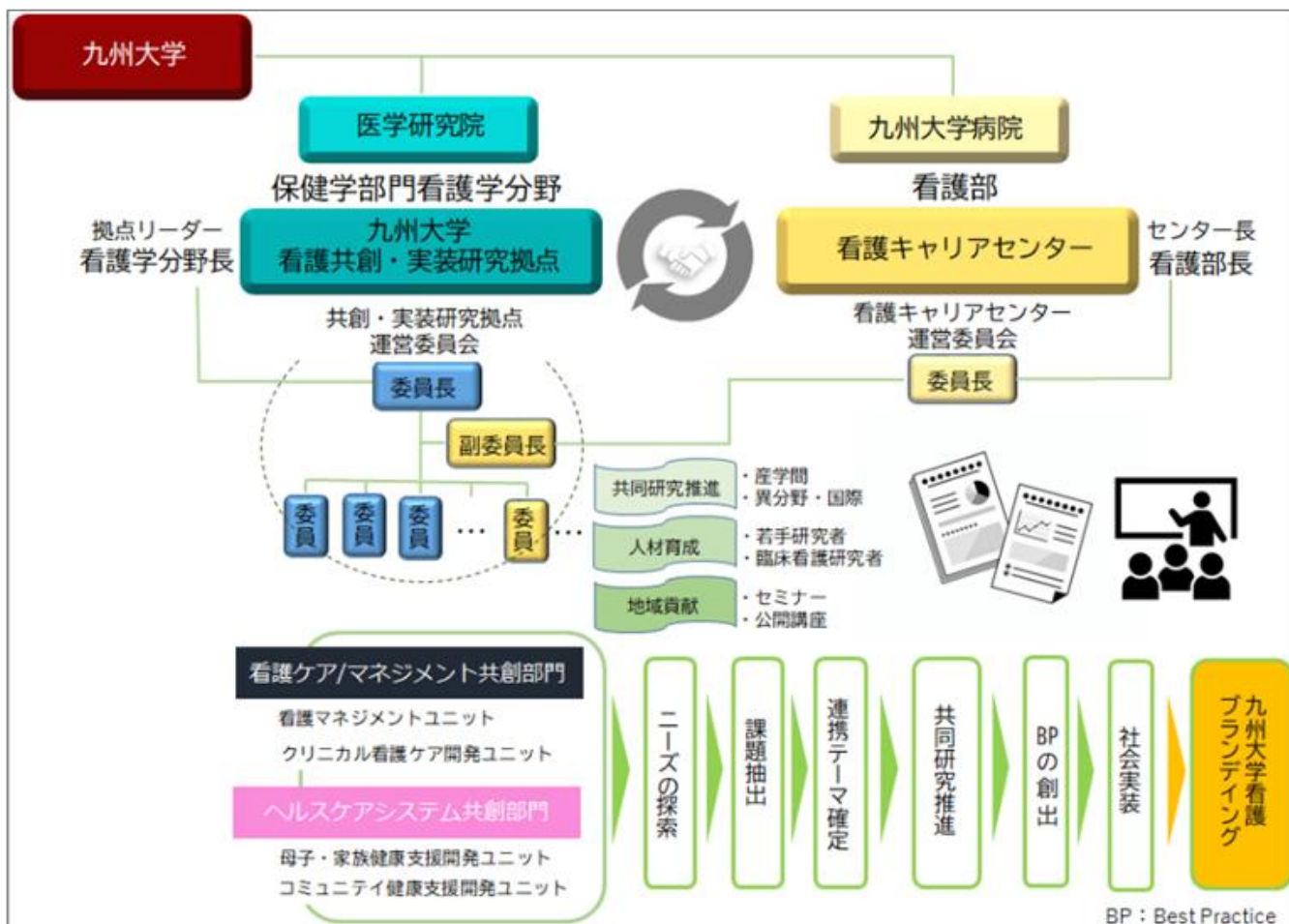
【看護研究コースの流れ】 ※令和5年度より休講中



# 2. 九州大学看護共創・実装研究拠点

- 2024年3月21日のキックオフシンポジウムを経て本格始動した。
- 目的は、保健学部門看護学分野と看護部が連携し、外部機関や異分野との融合研究を通じ、イノベーティブな看護の開発と社会実装を戦略的に推進することを目的としている。

図1



## 2. 九州大学看護共創・実装研究拠点

- 組織は2部門・4ユニット(図1左下)で構成され、社会実装に向けたベストプラクティスの創出や、EBNの構築を目指している。
- 保健学科の講座と病院の部署から数名ずつ選出し、協働で研究を行っている。

### 【部署スタッフの学びや感想】

- 計画から調査、データ解析の方法、結果の解釈の仕方などを保健学科の教員より詳しく学ぶことができ、勉強になった。
- 患者を対象とした調査や研究は、部署スタッフだけでは難易度が高いと感じていたが、保健学科とともに実施することができたため有意義な研究ができたと感じている。

# 2. 九州大学看護共創・実装研究拠点

## 看護研究セミナー

- 九州大学看護共創・実装研究拠点事業の一環として、令和6年度より「看護研究セミナー基礎編」が保健学科主導で企画・開催された。
- 看護研究の基礎知識習得と臨床実践への活用が目的とした。
- 講師は九州大学保健学部門の教員で、対面、オンライン、オンデマンドの3つより選択できる研修形態をとった。
- WGメンバーは運営としてセミナーに携わった。

九州大学看護共創・実装研究拠点事業

オンデマンドでも学べる／  
看護研究セミナー

基礎編Ⅰ・Ⅱ  
全10回  
コース

2024年 10.23 (水) - 2025年 7.24 (木)  
17:00~18:00

開催日	講義テーマ	内容	オンライン オンデマンド	会場
① 2024.10.23 (水)	看護研究とは	研究や実装における文献活用の意義	○	
② 2024.11.27 (水)	文献活用	論文の種類・研究デザイン、統計検定を読む	○	
③ 2024.12.26 (木)	統計解析1	記述統計：平均値・中央値・標準偏差	○	
④ 2025. 1.23 (木)	統計解析2	クロス集計、2群の比較、単変量検定	○	
⑤ 2025. 2.27 (木)	統計解析3	正の相関、負の相関、相関係数、散布図	○	
⑥ 2025. 3.12 (水)	統計解析4	ロジスティック回帰分析、オッズ比	○	
⑦ 2025. 4.24 (木)	文献検討1	文献クリティック①	対面のみ	
⑧ 2025. 5.22 (木)	文献検討2	文献クリティック②	対面のみ	
⑨ 2025. 6.26 (木)	研究シーズの検討1	文献整理・レビュー表の活用	対面のみ	
⑩ 2025. 7.24 (木)	研究シーズの検討2	文献整理・レビュー表の活用	対面のみ	

**申込み方法 (基礎編Ⅰ)**  
※基礎編Ⅱは次年度募集いたします  
部署の看護師長へ確認後  
Webページよりお申込みください  
※各研修の2週間前までにお申し込みください

**受講料**  
基礎編Ⅰ：6,000円  
※基礎編Ⅱは4,000円です(次年度募集)

**対象**  
基礎編Ⅰ (①~⑥回)：すべての看護職員  
基礎編Ⅱ (⑦~⑩回)：基礎編Ⅰを受講した方で  
基礎編Ⅱをすべて受講可能な方

**講師** 保健学部門 教員  
教授  
講師  
助教  
助教

**受講方法**  
基礎編Ⅰ：対面・オンライン  
※オンデマンド配信あり  
基礎編Ⅱ：対面のみ

**【お問い合わせ】**  
九州大学医学研究院 保健学部門  
メール：  
電話：



# 3. 令和6年度 臨床看護研究発表会

「患者教育・看護教育」「看護実践」「看護共創・実装研究」の3つのテーマに分け、12演題の発表が行われた。

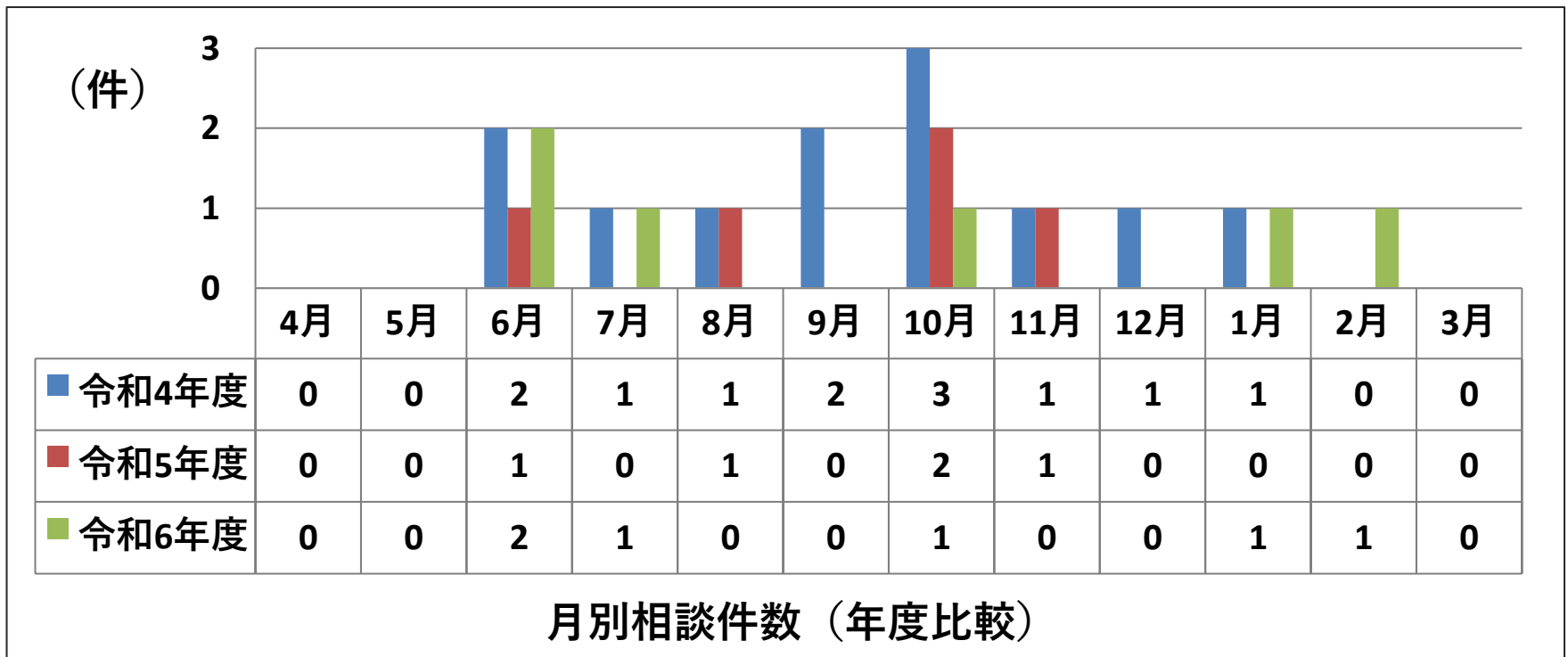
当日参加者:165名

オンデマンド視聴者:485名

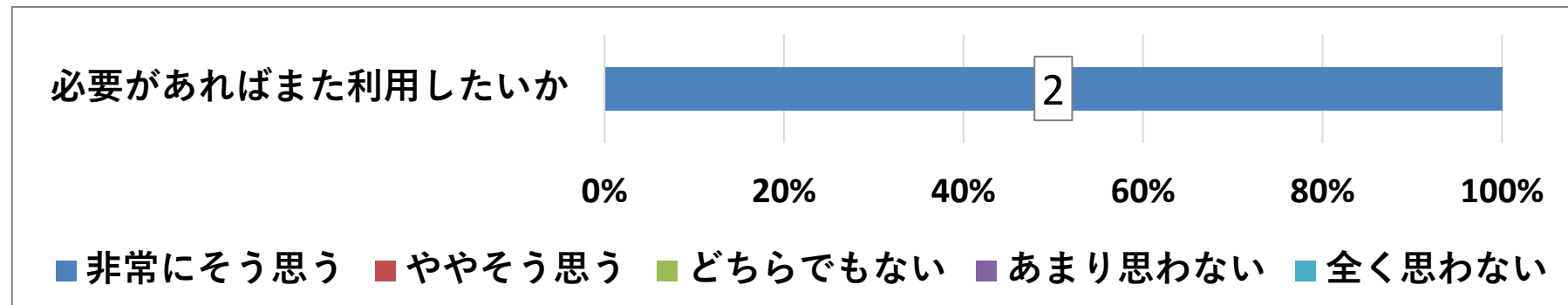
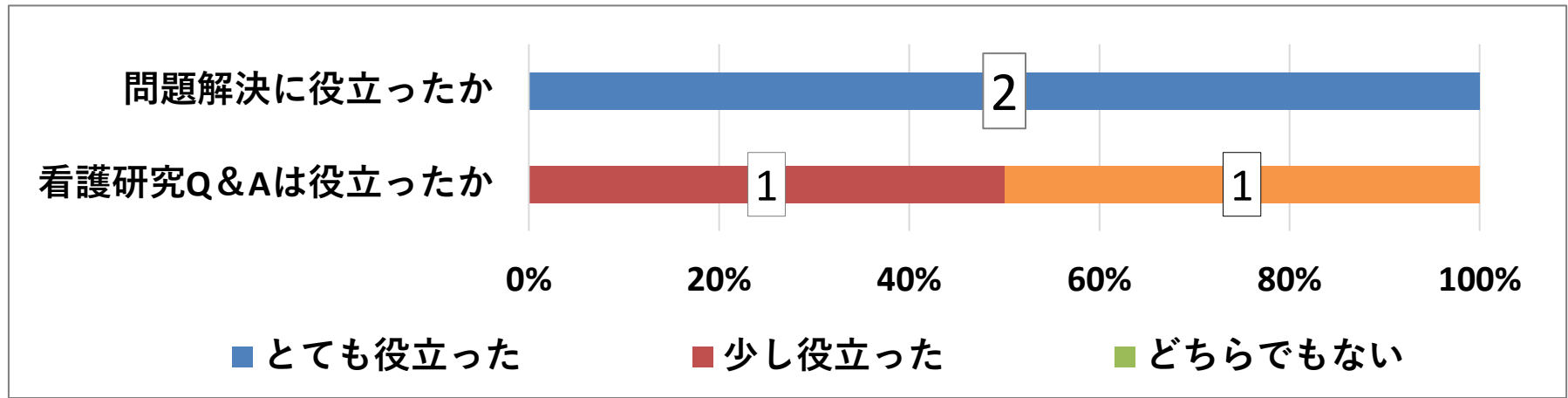
当日は、教育担当副看護部長より研究発表を聞くポイントや文献検討に関するミニレクチャーと、発表演題に関する講評が行われ、参加者の学びがさらに深まる機会となった。

# 4. キャリアステーション

- 構 成 員 : 看護師長、専門看護師、大学院修了者、保健学科助教  
令和6年度は教育研究推進WGメンバー9名で相談に対応
- 相談内容 : 看護研究の相談(研究テーマの絞込み、研究計画書の作成など)  
進学相談(大学院進学やスペシャリストを目指す際の情報提供)
- 相談日時 : 原則、第2金曜日15～16時・第4金曜日9～16時



# キャリアステーション利用の感想 (n=2)



## 【自由記載】一部抜粋

- 研究の方向性を共に考えてもらい、倫理申請の難しさも感じた。
- 親身になって相談を受けていただき、具体的な記載方法なども提示して下さり助かった。

# まとめ

- 教育研究推進WGは、個別の看護研究の相談・指導を主体とし、院内看護研究発表会の開催、実装研究の支援などの活動を行っている。実装研究では、現在19部署が研究に取り組んでおり、部署全体の研究マインドを育てることに役立っている。
- 実施した研究成果については院内研究発表会や学会で発表することで研究によって得られた貴重な知識・看護を発信することができる。来年度は看護研究セミナー（実践編）もあり、研究結果の分析能力向上が期待できる。
- 今後は、実装研究以外で看護研究に取り組む看護職員への支援に加え、当WGで運営している臨床看護研究発表会での発表部署に対する積極的な支援も検討し、看護研究の質向上に繋げていく必要がある。